

被扶養者認定現況書

この現況書は健康保険組合が被扶養者の認定をするために必要ですので正しく記入してください。
 収入には年金(障害、遺族年金含む)、自営業、パート、アルバイト、その他全ての収入を含めて記入
 してください。なお、虚偽の届出をした場合には、健康保険法217条により処罰の対象になります。

記号	番号	被保険者氏名	現在の月給(残業、通勤、諸手当含む)	年間収入額(賞与等すべて含む)
			円	円

扶養申請する方の氏名	年齢	歳	続柄

扶養申請する方の収入について

有・申請中・無のいずれかに○をし、右に記入をして下さい。

- 年金の受給

有	(年金の種類 _____ 年額 _____ 円)
申請中	(受給予定月 _____ 年 _____ 月)
無	
- 自営業収入(農業等)

有	(収入の種類 _____ 年額 _____ 円)
無	
- パート・アルバイト収入

有	(1ヶ月の金額(税込) _____ 円)
無	
- 雇用保険、傷病手当金、出産手当金の受給

有	(1日の金額 _____ 円)
申請中	(受給開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
無	(理由 _____)
- その他の収入

有	(収入の種類 _____ 年額 _____ 円)
無	

扶養申請する方の続柄が父母(義父母)、祖父母の場合

- 配偶者の有無

有	(配偶者の年収 _____ 円)
無	(未婚・離婚・死別)
	死別の場合遺族年金の有無 有・無 _____
	(無の場合はその理由 _____)

被保険者が扶養申請する方の生計を維持しなければならない理由を具体的に記入して下さい
 (今までの状況)

(今後生計を維持しなければならない理由)

被保険者と扶養申請する方の同居・別居について

1. 被保険者と 同居・別居

(いずれかに○をし、別居の場合は 2 に記入してください。)

2. 別居の場合

別居している理由 _____

送金額 月額 _____ 円

送金証明はATMの振込通知書の控えのコピーを添付してください。

(直接手渡、現金封筒では金額が特定できませんので証明要件とはなりません)

別居の扶養は送金が継続的に行われていることが認定要件となります。

継続的に行われているか、後日証明書の提出を求める場合があります。

今回、扶養申請する方の家族構成、住居について(同居・別居にかかわらずご記入ください)

1. 扶養申請する方と同居している家族構成(扶養に入っていない方も含め全員を記入してください)

氏名	続柄	年齢	職業	年間収入
				円
				円
				円
				円
				円

2. 住居に関する事項

(1) 持ち家の場合 家の所有者 _____ 続柄 _____ (本人・妻・父・母 等)

借家の場合 家賃を負担している人の名 _____ 続柄 _____

1ヶ月当たりの家賃 _____ 円

(2) 扶養申請する方の1ヶ月の生活費 _____ 円

生活費の算出については、下記項目を参考に1ヶ月あたりの金額を記入してください。

住居費(持ち家のローン又は家賃を世帯の人数で割った金額)

水道光熱費(合算額を世帯の人数で割った金額)

食費(合算額を世帯の人数で割った金額)

医療費(介護費用なども含めて)

交際費(娯楽等にかかる費用など)

交通費(電車、バス、車の維持費など)

通信費(電話代など)

雑費など

以上の事実と相違ありません。

日本自動車部品工業健康保険組合理事長 殿

平成 年 月 日

被保険者 _____ 印

(被保険者本人が自ら記入する場合には、被保険者本人の押印は不要です。)